



大山

Oyama



こんなに大きくなりました!

3月25日、おおやまこども園で卒園式が行われた。卒園児7人が壇上に上がり、元気いっぱいに園歌を合唱したあと、園長先生から一人ひとりに修了証書が授与された。両親から「よくがんばったね」と声を掛けられ、泣き出す園児の姿も。在園児からのメッセージや思い出のスライドなども披露され、卒園児のこれからの歩みを応援する温かな卒園式となった。



大盛況の梅まつり

2月19日～3月19日、「第43回日田おおやま梅まつり」が開催された。毎年、梅の開花時期に合わせて実施されるこの梅まつり。3月5日の「おおよぼ台梅園メインイベント」は晴天に恵まれ、梅娘認証式、豊作祈願祭、各種団体によるステージアトラクション、野点^{のだけ}などが行われた。会場には、大山の特産物を扱った露店などがたくさん並び、大勢の観梅客が訪れ、久しぶりの賑わいを見せていた。



中津江

Nakatsue



日頃の練習の成果を発揮

3月12日、改修を終えた中津江公民館で「公民館教室発表会」が開催された。カラオケや舞踊のステージ、作品展示など、教室生が日頃の活動の成果を発表した。来場者の中には、陶器や杉板、ブリキといった素材を問わない様々な技術で身の回りの道具に絵を描く「ツールペイント教室」の作品を手に取り、新たな習い事に興味を抱く人の姿も。また、集落支援員の活動を記録したパネルの展示も行われた。



目指せ収穫量増!唐辛子栽培コンテスト

3月9日、(株)つえエーピーが主催する唐辛子栽培コンテストの表彰式が行われた。このコンテストは、「ゆずごしょう」の原料となる青唐辛子の生産量増大や生産意欲向上を目的とし、総収穫量が最も多かった1人と、苗1本あたりの収穫量が多かった上位3人に賞品が授与されるもの。受賞した生産者4人に、主催者から生産量の増加の期待を込めて、ねぎらいの言葉とともに賞品が贈られた。

上津江

Kamitsue



ジビエ料理にチャレンジ!

3月16日、上津江体育館の調理室で、上津江公民館主催のジビエ料理教室が開催された。雉谷地区在住の小野敏郎^{としろう}さんを講師に迎え、猪肉と大根の煮込み料理「猪大根」作りに参加者6人がチャレンジ。猪肉をおいしく食べるための下処理の方法などの丁寧な説明に、「調理方法が参考になった。自宅でもまた作ってみたい」と、参加者から好評だった。



みんなで花植えを楽しもう

3月上旬、都留地区のミニデイが開催され、今年は花植えを実施。程野^{ほどの}・平藪^の集落と白草^{はくそう}集落のそれぞれの公民館に福祉委員と地元の高齢者が集まり、プランターにマリーゴールドなどの花苗を植えた。参加者はみんなで声を掛け合いながら共同作業を行い、公民館前に花をきれいに植えることができた。花植えを通してみんなが集まり、お互いの近況等について話す良い機会となった。



この村のお宝、再発見!

3月19日、地元住民を対象とした村内ツアーが開催された。これは、中津江マップを作った「むらづくり役場つくる部会」が企画したもので、第2弾の今回は約20人が参加し、「中津江の三社参り」が行われた。一行は、日田林業の発祥地とも言われる宮園津江神社などを散策。「長く住んでいるけれど、初めて来た」といった参加者も多く、暖かな春の日差しの中で楽しく賑やかなツアーとなった。



生産者と地域をつなぐ、野菜市

3月13日、むらづくり役場事務所前で、「第23回野菜市」が開催された。この催しは、地域の交流の場になればとの思いで、集落支援員が令和2年10月から始めたもの。生産者のやりがいと購入者の地産品を買える楽しみを創出し、地域活性化に貢献している。集まった人たちは新鮮な農産物を手し、工夫を凝らした調理法や夕食の献立等の話で盛り上がっていた。